

環境に自ら関わり、  
主体的に活動する  
幼児・児童の育成

～「遊び」と「学び」をつなぐ  
幼小の円滑な接続を目指して～

荒川区立町屋幼稚園  
荒川区立第七峡田小学校

# 研究指定を受けて

	幼児期の教育	児童期の教育
教育課程の 基準	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領	小学校学習指導要領
	健康・人間関係・環境・言葉・表現	国語・社会・算数・理科・生活・音楽・図画工作・家庭・体育・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動
教育課程の 構成原理	経験カリキュラム (一人一人の生活や経験を重視)	教科カリキュラム (学問の体系を重視)
	方向目標 (その後の教育の方向付けを重視)	到達目標 (具体的な目標への到達を重視)
教育の方法等	遊びを通じた総合的な指導	教科等の目標・内容に沿って選択された教材による指導
学びの形態	学びの芽生え(無自覚的な学び) 学ぶことを意識していないが、楽しいこと好きなことに集中することを通じて、様々なことを学んでいくこと	自覚的な学び 学ぶことについての意識があり、与えられた課題を自分の課題として受け止め、計画的に学習を進めていくこと

幼児期と児童期の「学び」の接続の推進に向けて (兵庫県教育委員会,平成26年)

# 本研究の内容

- (1) 幼稚園と小学校の合同研究組織による研修会等の実施
- (2) 「5歳児から小学校低学年までを連続した時期として捉えた指導計画」の作成及び実践
- (3) 小学校施設内に設置した『ななはけラボ』の活用と活用計画の実践と検証
- (4) 幼児・児童の双方にとって効果的だと考えられる交流活動の通年実施

# ○研究の内容 (1) 幼小合同の研究組織

研究推進委員会

年間活動・広報  
・連携部会

研究紀要部会

園校内整備  
・発表準備部会

授業分科会 A

授業分科会 B

5歳児分科会

4歳児分科会

1年生分科会

中学年分科会

2年生分科会

高学年分科会



相互参観（年間3回）



研究保育・授業実践

# ○研究の内容 (2) 「指導計画」

町屋幼稚園・第七幼田小学校版 5歳児から小学校低学年までの5年間をひとつとまとめた指導計画 (5歳児)

領域	目標	内容	評価
言語	言葉の力を伸ばす	話し言葉の発達を促す。聞く・話す・読む・書くの力を伸ばす。	話し言葉の発達を促す。聞く・話す・読む・書くの力を伸ばす。
算数	数や図形の理解を深める	数や図形の理解を深める。計算能力を伸ばす。	数や図形の理解を深める。計算能力を伸ばす。
理科	自然現象の観察と実験	自然現象の観察と実験。観察力や実験能力を伸ばす。	自然現象の観察と実験。観察力や実験能力を伸ばす。
社会	社会生活の理解と実践	社会生活の理解と実践。社会性や協調性を伸ばす。	社会生活の理解と実践。社会性や協調性を伸ばす。
芸術	表現力の育成	表現力の育成。創造力や想像力を伸ばす。	表現力の育成。創造力や想像力を伸ばす。
総合	総合的な学習の場	総合的な学習の場。総合的な学習能力を伸ばす。	総合的な学習の場。総合的な学習能力を伸ばす。

それぞれが、  
いつ・どんな活動  
をしているのか？

町屋幼稚園・第七幼田小学校版 5歳児から小学校低学年までを連続した時期として捉えた指導計画 (第1学年 生活)

領域	目標	内容	評価
言語	言葉の力を伸ばす	話し言葉の発達を促す。聞く・話す・読む・書くの力を伸ばす。	話し言葉の発達を促す。聞く・話す・読む・書くの力を伸ばす。
算数	数や図形の理解を深める	数や図形の理解を深める。計算能力を伸ばす。	数や図形の理解を深める。計算能力を伸ばす。
理科	自然現象の観察と実験	自然現象の観察と実験。観察力や実験能力を伸ばす。	自然現象の観察と実験。観察力や実験能力を伸ばす。
社会	社会生活の理解と実践	社会生活の理解と実践。社会性や協調性を伸ばす。	社会生活の理解と実践。社会性や協調性を伸ばす。
芸術	表現力の育成	表現力の育成。創造力や想像力を伸ばす。	表現力の育成。創造力や想像力を伸ばす。
総合	総合的な学習の場	総合的な学習の場。総合的な学習能力を伸ばす。	総合的な学習の場。総合的な学習能力を伸ばす。

同じ視点で  
子どもを見取るには  
どうすればいいのか？

令和4年度 本園・校版「5歳児から  
小学校低学年までを連続した時期と  
して捉えた指導計画」

5歳児から小学校低学年までを連続した時期として捉えた指導計画

この研究において、5歳児の指導計画は、小学校の教科学

1, 2年生の指導計画は、各教科を資質・能力の3観点で整理し、5歳児の経験からのつながりを表している。

※5歳児の指導計画について東京都や荒川区の作成した指導計画を基に、幼小の一層の円滑な接続を図るための研究の視点として「文字・言葉」、「数量・図形」、「自然」の3つを抽出して記載したものであり、日々の保育では幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の全てについて、子どもの生活を通して総合的に指導している。

3, 4歳児

5歳児

1年生

2年生

3～6年生

幼児期のさまざまな経験と小学校の教科学習とのつながりを明確にしていく。それにより、就学前施設で小学校へつながると考えられる経験や活動を取り入れることや、小学校の教科学習においてその経験を生かした学習を取り入れることが、幼児・児童の主体的な学びを引き出せると捉えている。

検証方法

- 本園卒園児の5歳児から2年生までを継続した見取りによる活動の記録
- 保護者・児童・就学前施設と小学校の教職員への資質依拠による結果検証
- 幼児期の経験をもとにした、小学校における学習実践による成果検証



# 指導計画の中に 幼稚園と小学校のつながりを見いだす

町屋幼稚園・第七峡田小学校版 5歳児から

記述例	1学期	2学期
①・②領域の理解 ③・思考力・判断力・表現力等 ④・学びに向かう力・人間性等	③0. 道徳のスタートカリキュラム。 ④生活に必要な物と、影字や人数を対応させながら数を数える。1冊、④遊びに必要なものについて、長さを大きさがわかる。[F]	③数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G] ④数を数え、1冊や1冊の表し方を理解する。[G] ④10以内の数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G] ④数を数え、1冊や1冊の表し方を理解する。[G] ④10以内の数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G]

町屋幼稚園・第七峡田小学校版 5歳児から小学校低学年までを

記述例	1学期	1学期	2学期
● ねらい・目標 ○ここで習ってほしい事、達成目標	●数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G] ●数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G] ●数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G]	●数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G] ●数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G] ●数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G]	●数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G] ●数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G] ●数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G]

**数・図形**

- 正五角形などを通して、数や図形に触れる。[G, D, K]
- 立方や中型紙箱を使い遊びの場を構成する。[E, F]
- カレンダーや1日の予定を見て少し先の予定を知る。[L, M]

- 新しい種類の書や紙の仕立を通して、形や数を調べる。[A, H]
- 新しい材料や道具に関心をもち、製作をする。[D, K, O]

**思**

- いろいろな紙の中からイメージしたものを取り、組み合わせたり比べたりする。[K]
- 簡単な絵や図を用いてデータの個数を表す。[M]
- 10をひとまとまりにして数の数え方や計算の仕方を考える。[C]
- 図形の特徴や機能をつえたり、構成や分解をしたりして、表現する。[K]

**数**

- 数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G]
- 数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G]
- 数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G]

**図形**

- 図形の特徴や機能をつえたり、構成や分解をしたりして、表現する。[K]
- 図形の特徴や機能をつえたり、構成や分解をしたりして、表現する。[K]
- 図形の特徴や機能をつえたり、構成や分解をしたりして、表現する。[K]

町屋幼稚園・第七峡田小学校版 5歳児から小学校低学年までを

記述例	1学期	1学期	2学期
③0. 道徳のスタートカリキュラム。 ④生活に必要な物と、影字や人数を対応させながら数を数える。1冊、④遊びに必要なものについて、長さを大きさがわかる。[F]	③0. 道徳のスタートカリキュラム。 ④生活に必要な物と、影字や人数を対応させながら数を数える。1冊、④遊びに必要なものについて、長さを大きさがわかる。[F]	③0. 道徳のスタートカリキュラム。 ④生活に必要な物と、影字や人数を対応させながら数を数える。1冊、④遊びに必要なものについて、長さを大きさがわかる。[F]	③0. 道徳のスタートカリキュラム。 ④生活に必要な物と、影字や人数を対応させながら数を数える。1冊、④遊びに必要なものについて、長さを大きさがわかる。[F]

**思**

- 数の大きさの比べ方や数え方を考え言葉やブロックなどを用いて表現する。[C]
- 図形の特徴や機能をつえたり、構成や分解をしたりして、表現する。[M]
- 広さが異なることに気づき、実物に比べてみる。[M]
- 10を単位として数を数える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える。[C]
- 平面図形の形に着目して特徴をつえたり、構成や分解を考えたりする。[M]

**思**

- 2位数の加法や減法計算の仕方、図や式などを用いて考え表現する。[C]
- 平面図形の形に着目して特徴をつえたり、構成や分解を考えたりする。[K]
- 数の仕組みに着目し、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方、図や式などを用いて考え表現する。[C]
- 辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形、四角形、長方形や正方形などの特徴を見いだす。[K]

**数**

- 数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G]
- 数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G]
- 数の数えかたや数え方、書き方、の数を数えたり、数えたりする。[G]

**図形**

- 図形の特徴や機能をつえたり、構成や分解をしたりして、表現する。[K]
- 図形の特徴や機能をつえたり、構成や分解をしたりして、表現する。[K]
- 図形の特徴や機能をつえたり、構成や分解をしたりして、表現する。[K]

# ○研究の内容 (3) 「ななはけラボ」の活用

1 期の環境の構成



5 期の環境の構成



保育室と教室をつなぐ部屋



# ○研究の内容（4） 交流活動の通年実施

## 3歳児・4歳児からの学びのつながりを踏まえた教師の援助



3歳児  
ピザ屋さんごっこ

先生！見て！  
ピザが  
焼けたよ！



4歳児  
忍者ごっこ

忍者になりきって  
出発だ！

5歳児  
アイスクリーム屋さんごっこ



どうしたら  
お客さんがたくさん  
来てくれるかな

# 5歳児5期 「いるか組ランドを作ろう」

小学校第2学年までの学びや児童の姿を見通して、幼児の興味や関心を丁寧に捉えて思いを実現することができるような援助を考えた。

どうやったらコロコロゲームの  
ボールが転がるかな。



サメが出てくる迷路の  
ゲームにしよう。





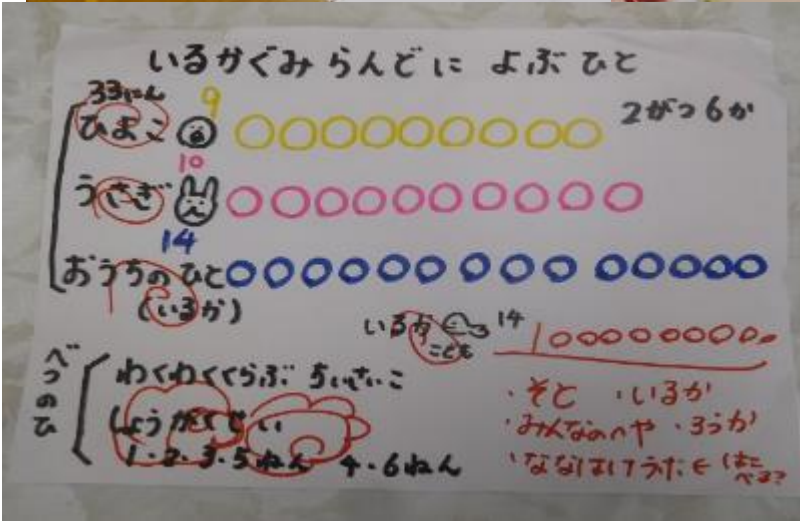
# 5歳児5期 「いるか組ランドを作ろう」



数量・図形への興味関心



文字・言葉への興味関心



自然への興味関心



# 5歳児5期 「いるか組ランドを作ろう」



小学生が  
楽しんでくれる  
といいな！



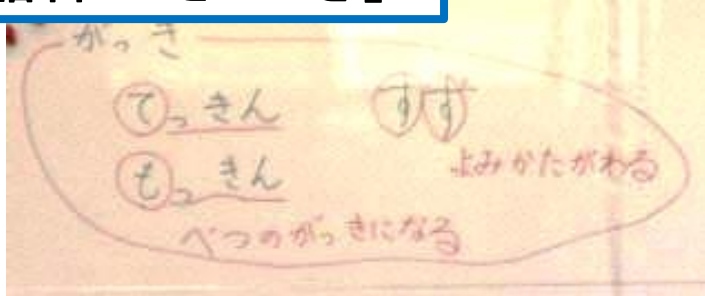
「ななはけラボ」で  
お店を開いて  
小学生に  
来てもらおう！



# 第1学年1期 生活「わくわく どきどき しょうがっこう」

学校探検を契機に「ななはけラボ」を中心とした校内の様々な環境と関わり、子どもたちの興味関心に寄り添いながら合科的・関連的な学習を行った。

国語科「かきとかぎ」



生活科「わくわく どきどき しょうがっこう」



音楽科  
「はくをかんじとろう」



生活科  
「きせつとなかよし はる」



生活科  
「きれいにさいてね わたしのはな」



遊びの中から学習環境が生まれるため、主体的に取り組む。

算数科「いくつといくつ」



# 第2学年3期 算数「長方形と正方形」

## 令和4年度



## 令和5年度

昨年度と扱う図形  
の数を変えた。

着目する視点を  
与えた。

# ミッションシートを活用

見付ける

たとえば

比べる

めがせ!  
やまぐり名人

なつやさい

3. ダイス	トウモロコシ	オクラ	アスパラ
キウリ	ピーマン	ジャガイモ	ゴボウ
8. スイカ	イチゴ	サツマイモ	
1. ニンジ	トマト	ナス	
ダイコン	パセリ	アスパラ	
ポルンウ	ネギ		

ミッション

- なつやさいの本をしらべる
- いまの3年生に聞く (トト、まうい、なす)
- ひなうなものをしらべる
- おまけのしりとり
- おまけのしりとり
- おまけのしりとり
- おまけのしりとり

めがせ! 1年生をよろこばせよう名人!

おまけを作らう

① 自分たちでめがせ	② おまけを作る
③ 1年生にめがせてもらう	④ 自分たちでめがせ (おまけ)
⑤ 3-6年生にめがせてもらう	⑥ 作りなおし
⑦ 先生にめがせてもらう	⑧ しょう(いじょう)
⑨ ようちえんの子をしょう(いじょう)	⑩ カード(はんこ)
	⑪ ななはけらボかざり
	⑫ 作り方をしらべる
	⑬ おまけ作りのれんしゅう

試す

見通す

工夫する



# 小学校 中・高学年での つながりを意識した授業づくり



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した、中・高学年での授業実践

# 町屋幼稚園修了児の姿について

**就学前施設で育てた野菜を伝え合う**



ななはけラボで  
空き箱で工作を  
したよ。



その遊び  
私もやったこと  
あるよ。

**就学前施設  
での経験を  
伝え合う**



# 小学校高学年児童の意識の変容



この前の  
交流よりも  
上手に教えて  
あげられた。



# 近隣就学前施設との交流



部屋の紹介  
やクイズを  
出す

幼児から  
も感想を  
もらう

オンライン  
による  
学校探検





# 近隣就学前施設との交流



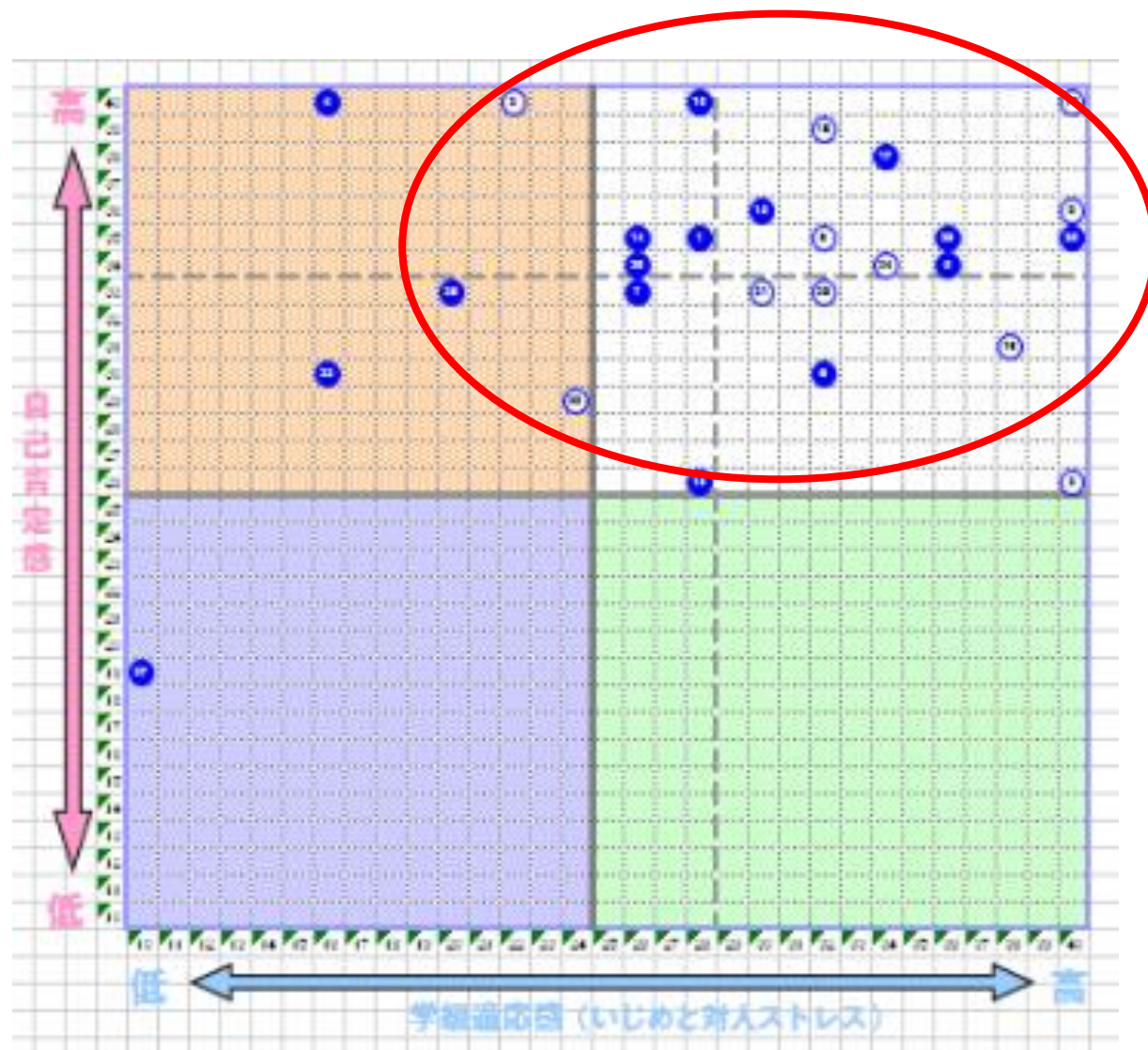
幼稚園の  
園庭や園舎  
での交流

他園の  
「ななはけラボ」  
の体験





# i-checkを活用した児童の見取り

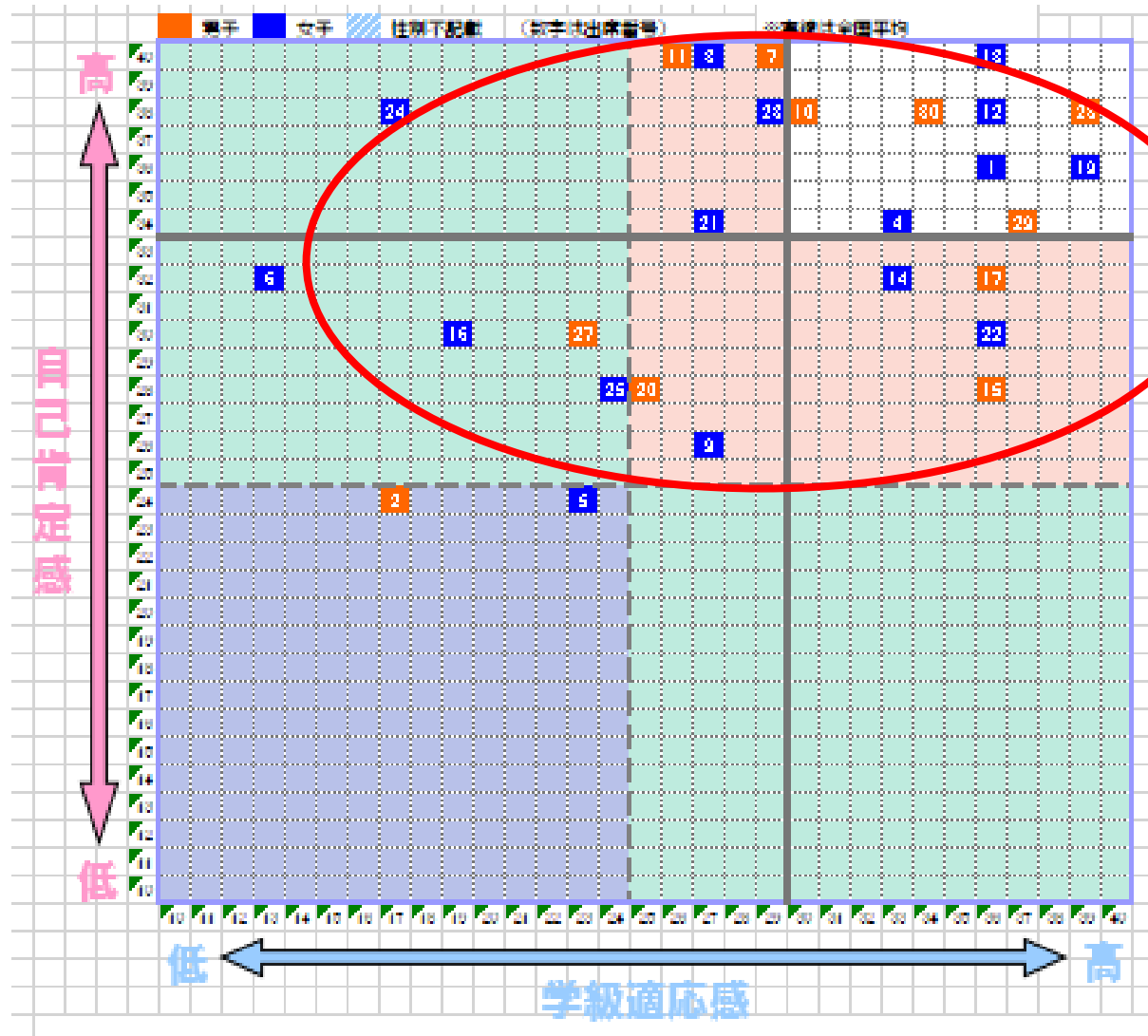


令和2年度 第1学年

グラフ右上に分布している児童が割合が多い。

安心して学校に通うことができていることの結果

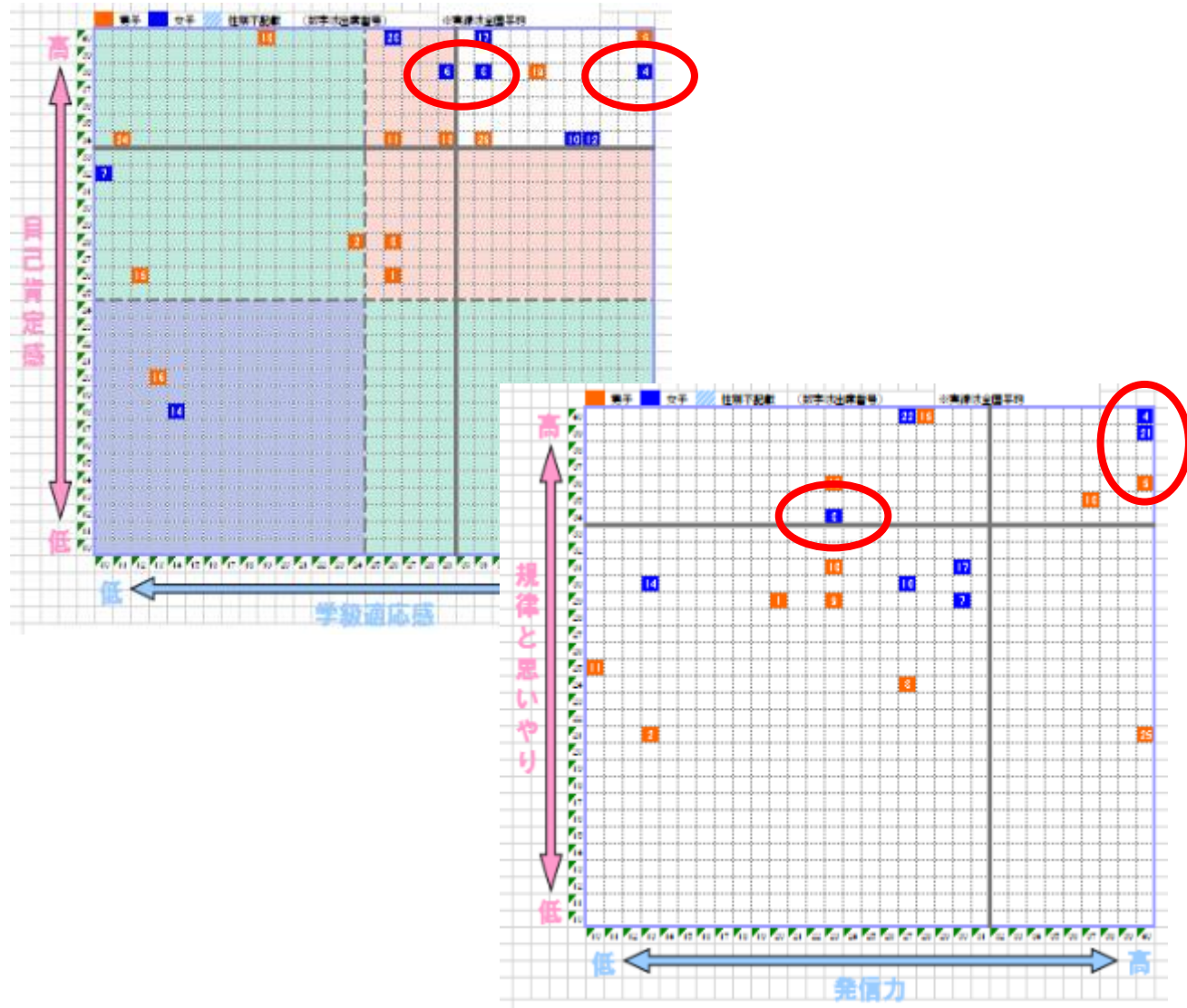
# i-checkを活用した児童の見取り



令和3年度 第2学年

第2学年になっても、  
自己肯定感の高い児童が多い。

# i-checkを活用した児童の見取り



令和3年度 第1学年

町屋幼稚園修了児を抽出してみても、個人の自己肯定感や思いやり、発信力が高い。



# ○研究の成果と課題（◎成果 △課題）

## (1) 幼稚園と小学校の合同研究組織による研修会等の実施について

- ◎合同研究組織で研究を進めたことで、幼稚園・小学校双方の教育方法や幼児・児童の姿等の共通理解が促進され、それを基に援助や指導へ生かすことができた。
- △就学前施設保育者と小学校教員とが互いの保育・教育活動を理解するためには時間がかかる。そのため、意図的・計画的に互いの活動を見学し合ったり、対話したりする機会と場所を設定していく必要がある。

# ○研究の成果と課題（◎成果 △課題）

## (2)「5歳児から小学校低学年までを連続した時期として捉えた指導計画」の作成及び実践について

◎指導計画を作成し、教員一人ひとりが幼児・児童の学びの連続性を踏まえた実践をすることで、主体的に活動する幼児・児童が育ってきた。

△国語、算数、生活以外の教科学習等における幼小のつながりも整理し、実践していく必要がある。

## ○研究の成果と課題（◎成果 △課題）

### (3) 小学校施設内に設置した「ななはけラボ」の活用と活用計画の実践と検証について

◎「ななはけラボ」を活用し、教員が就学前教育と小学校教育との接続を意識した援助や指導を行うことで、子どもたち自身も幼小のつながりを感じるようになった。

△今後も「ななはけラボ」を継続して活用し、多くの活用事例を集め、次年度以降へとつなげていく。

## ○研究の成果と課題（◎成果 △課題）

### (4) 幼児・児童の双方にとって効果的だと考えられる交流活動の通年実施について

◎5歳児は小学校への期待や憧れの気持ちが高まり、期待や安心感をもって就学することにつながった。また、小学校第1・2学年児童は、自分たちがこれまでしてきた経験が小学校での学習や次の学年の学習につながっていることを意識し、学びを深めることにつながった。

△近隣の就学前施設との交流活動を更に広げ、連携を深めることができるようにする。

# ご清聴ありがとうございました。

本園・校のホームページにおける研究のページ

<https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI7HAKETA-E/study/1002686.html>

